

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、法学部は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、情報科目、及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「創造性」「国際性」「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。(学部が開設する高度教養科目を含む。)
  - ・法学に関する幅広い知識とこれを基盤とした専門的能力を身につけることができるよう、入門科目、基本法律科目A、基本法律科目B、展開・発展科目、基礎法科目、法社会学科目、国際法科目、演習科目、応用法律科目、共通科目を開設する。
  - ・政治学に関する幅広い知識とこれを基盤とした専門的能力を身につけることができるよう、入門科目、政治・国際関係論科目、演習科目、応用研究科目、共通科目を開設する。
  - ・多様な価値観を尊重し、法的・政治的領域の課題を適切に把握する能力を身につけることができるよう、基礎法科目、展開・発展科目、国際法科目、政治・国際関係論科目、外国書講読科目、共通科目、高度教養科目を開設する。
  - ・問題解決のために、幅広い思考により新たな発想を生み出す能力を身につけることができるよう、基礎科目、演習科目、応用研究科目、応用法律科目、共通科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

○法学部カリキュラム・マップ

学修目標	1年生				2年生				3年生				4年生			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
人間性	自ら主体的に学修する態度とそれに必要な能力															
	【情報科目】情報基礎 【演習科目】初年次セミナー															
創造性	他の分野の人々と協働して問題解決にあたる能力															
	【法経連携関連科目】特講法経総合概論 【法経連携関連科目】特講法経連携基礎演習															
国際性	異なる文化の人々と外国語で意思を適切に伝える能力															
	【外国語科目】外国語第1 外国語第2 外国語第3 【外国語科目】Advanced English 外国語第2 外国語第3															
専門性	法学に関する幅広い知識とこれを基盤とした専門的能力															
	【入門科目】憲法入門 【基本法律科目A】憲法（統治） 【基本法律科目B】民法Ⅰ（総論・物権） 【基本法律科目C】民法Ⅱ（債権各論） 【基本法律科目D】民法Ⅲ（債権総論・担保物権） 【基本法律科目E】民法Ⅳ（親族・相続） 【基本法律科目F】行政法Ⅰ 【基本法律科目G】行政法Ⅱ 【基本法律科目H】刑事訴訟法 【基本法律科目I】商法Ⅰ 【基本法律科目J】商法Ⅱ 【基本法律科目K】労働法 【基本法律科目L】知的財産法 【基本法律科目M】国際私法 【基本法律科目N】国際経済法 【基本法律科目O】国際法Ⅰ 【基本法律科目P】国際法Ⅱ 【基本法律科目Q】国際法Ⅲ 【基本法律科目R】国際法Ⅳ 【基本法律科目S】国際法Ⅴ 【基本法律科目T】国際法Ⅵ 【基本法律科目U】国際法Ⅶ 【基本法律科目V】国際法Ⅷ 【基本法律科目W】国際法Ⅷ 【基本法律科目X】国際法Ⅷ 【基本法律科目Y】国際法Ⅷ 【基本法律科目Z】国際法Ⅷ															